

調査結果の概要

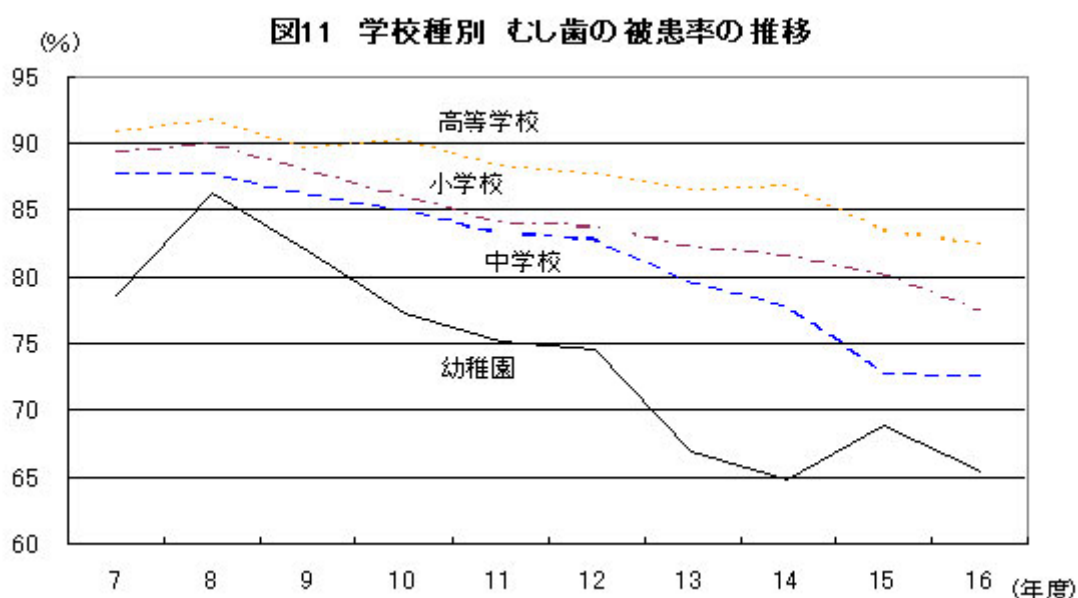
B 健康状態(主な疾病・異常等)

2 視力、むし歯、ぜん息の状況

(2)むし歯(う歯)のある者

むし歯のある者の割合(処置完了者を含む)は、幼稚園65.5%、小学校77.4%、中学校72.4%、高等学校82.5%となっており、すべての学校種別において、前年度より減少している。

昭和60年度においては、幼稚園88.5%、小学校92.0%、中学校91.0%、高等学校94.8%と9割前後の高率であったが、最近は減少傾向が続いている。



全国平均値と比較してみると、むし歯のある者の割合は、すべての学校種別において全国平均値を上回っており、12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯の本数も全国平均値を上回っている。

表11 全国平均値の比較(むし歯)

(単位:%、本)

区 分	福井県				全国			
	むし歯 (う歯)	うち処置完了の者	うち未処置歯のある者	12歳の永久歯の一人当たりの平均むし歯(う歯)の本数	むし歯 (う歯)	うち処置完了の者	うち未処置歯のある者	12歳の永久歯の一人当たりの平均むし歯(う歯)の本数
幼稚園	65.5	25.2	40.3	…	56.9	23.0	33.9	…
小学校	77.4	36.4	41.0	…	70.4	33.7	36.7	…
中学校	72.4	40.3	32.1	2.4	64.6	35.8	28.8	1.9
高等学校	82.5	52.4	30.1	…	76.0	43.7	32.2	…